

令和元年度 第1回食品技能検定

第3類

筆記試験

注意事項

1. 試験時間は50分です。
2. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
3. 解答は全て解答用紙に記号（1～4）で記入してください。
4. 問題には【共通問題】と【選択問題】があります。
 - ①【共通問題】は受検者全員が解答してください。
 - ②【選択問題】は（食品管理分野）と（食品流通分野）の2つがあります。
いずれか1つの分野を選択し、解答してください。
（両方の分野を解答してはいけません。）
5. 試験終了後、問題用紙・解答用紙とも試験監督に提出してください。

全国水産高等学校長協会
教科「水産」研究委員会（食品部会）

【共通問題】 20問

問1 食品の品質・安全管理のあらましに関する次の記述について、空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

教育現場においても、「食」が人の心身の発達に大きくかかわっていることを重要視し、(ア)が提唱されるようになってきた。

また、食に関する国民の感心の高まりにより、2003年に(イ)が制定され、その中に、食品の安全性確保に関する学習の重要性が示されたことを契機として2005年に(ウ)が制定された。

- (1) ア. 体育 イ. 食品安全基本法 ウ. 食品衛生法
- (2) ア. 食育 イ. 食品安全基本法 ウ. 食育基本法
- (3) ア. 食育 イ. 食育基本法 ウ. 食品衛生法
- (4) ア. 体育 イ. 食育基本法 ウ. 食品安全基本法

問2 食品工場で使用する水の基準について誤っているものを選びなさい。

- (1) 異常な酸性またはアルカリ性を呈しないこと。
- (2) シアン、水銀その他の有毒物質を含まないこと。
- (3) 外観はほとんど無色透明であること。
- (4) 異常な臭味がないこと。また、消毒による臭味もないこと。

問3 製品の回収(リコール)について誤っているものを選びなさい。

- (1) 製品が市場に出荷後公衆衛生上の事故が発生した場合、直ちに市場あるいは流通段階から自主的に製品を回収しなければならない。
- (2) 企業は事故を拡大防止するための措置を講じなければならない。
- (3) 企業はリコールを行う前に、事故の原因を解明する必要がある。
- (4) 企業はリコールの対応を想定した体制を普段から整備しておかなければならない。

問4 次の説明文を表す言葉を選びなさい。

汚濁の発生源が集中している水域などにおいては、一律排水基準によっては、水質環境基準を達成することが困難な場合がある。このような水域については、都道府県が条例で一律排水基準よりも厳しい排水基準を定めてよいことになっている。

- (1) 一律排水基準 (2) 上乘せ排水基準
- (3) 横乗せ排水基準 (4) 特定施設排水基準

問5 廃棄物の種類について、次のうち誤っているものを選びなさい。

- (1) 廃棄物には、一般廃棄物と産業廃棄物がある。
- (2) 廃棄物の処理および清掃に関する法律によって、それぞれ処理方法の基準が定められている。
- (3) 産業廃棄物は市町村が回収し処理しなければならない。
- (4) 人の生活によって、生じたゴミや廃棄物およびし尿などを一般廃棄物という。

問12 製品計画について誤っているものを選びなさい。

- (1) 生産者が商品をつくる場合、消費者がどのような商品を求めているかを知り製品計画を立てる。
- (2) 生産コストを上げ、品質や性能のよい製品を作る。
- (3) 品質、販売価格、デザイン、需要量などを予測する。
- (4) 生産技術や規格、現在ある製品との関係を参考にする。

問13 次の文中の（ ）に入る適切な語句を選びなさい。

食品という商品は、1日3回必ず消費するという特性がある。水産食品は、品質低下が著しく、保存や賞味期間が限定される特性があるので、（ ）当用買いという独特の消費形態をもつ。

- (1) 専門
- (2) 買回り
- (3) 売買
- (4) 最寄り

問14 日本および世界の水産物の流通について誤っているものを選びなさい。

- (1) 世界の水産物貿易金額・数量は、年々増加しており、それに伴い日本の輸入量も大きく増加している。
- (2) 水産物の1人当たりの消費量において、日本の消費量は、世界の各国よりも圧倒的に大きい。近年、減少傾向にあり「魚離れ」がすすんでいる。
- (3) 輸入水産物は、商社などが買い付け、市場や問屋、加工業者に出荷することが一般的であるが、近年は市場を通さず、総合スーパーなどに直接出荷することが増えている。
- (4) 近年、世界の水産物輸入量は増加しており、米国やヨーロッパの国々、中でも中国の輸入量が急増し、1人当たりの消費量も増加している。

問15 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

百貨店と総合スーパー（GMS）は、いずれも衣・食・住・遊の生活関連用品を（ア）的に取り扱う小売業である。品ぞろえの幅は（イ）といえる。ただし、品ぞろえされる商品の特徴としては、百貨店はハイグレードでファッション性が強く、（ウ）帯の商品が主力であるのに対し、総合品ぞろえスーパー（GMS）は百貨店よりも（エ）が強く、低価格帯の生活必需品が主力である。

- (1) ア．総合 イ．広い ウ．高価格 エ．日常性
- (2) ア．限定 イ．広い ウ．低価格 エ．非日常性
- (3) ア．総合 イ．狭い ウ．高価格 エ．非日常性
- (4) ア．限定 イ．狭い ウ．低価格 エ．日常性

問16 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

住宅地などにあつて、（ア）や日用雑貨品などの生活必需品を販売する（イ）小売業者で、長時間営業や年中無休などして、消費者に便宜をはかっている小売店を（ウ）という。

- (1) ア．食料品 イ．大規模 ウ．ディスカウントストア
- (2) ア．洋服 イ．小規模 ウ．ボックスストア
- (3) ア．食料品 イ．小規模 ウ．コンビニエンスストア
- (4) ア．洋服 イ．大規模 ウ．スーパーマーケット

問17 水産物の価格形成について誤っているものを選びなさい。

- (1) 仕入価格に、販売員の給料、広告費、光熱費などの営業費を加えたものを販売価格という。
- (2) 水産物は、生産者から委託を受けた産地卸売業者が主にせりや入札で産地仲卸業者に販売し、ここで産地価格が決まる。
- (3) 仕入価格に仕入れのために要した運賃や保険料、保管料などの仕入諸掛を加えたものを仕入原価という。
- (4) 産地仲卸業者は、加工業者や地元小売店などに販売したり、消費地市場へ向けて出荷する。

問18 包装の目的について誤っているものを選びなさい。

- (1) 美しい包装は、販売者の仕事を増やすので、好ましくない。
- (2) 有害微生物などによる二次的汚染を防ぎ、食品の衛生を流通過程において確保する。
- (3) 適切な包装は、消費者に持ち帰りやすい、開けやすい、保管しやすいといった利便性を与える。
- (4) 食品を微生物的変敗や物理・化学的変質から防止する。

問19 アイドマ理論について誤っているものを選びなさい、

- (1) 第1段階 A ・ ・ ・ ・ ・ 注意を喚起，注目させる。
- (2) 第2段階 I ・ ・ ・ ・ ・ 購買行動を起こさせる。
- (3) 第3段階 D ・ ・ ・ ・ ・ 欲しいという意欲を起こさせる。
- (4) 第4段階 M ・ ・ ・ ・ ・ 商品名やブランド名を覚えさせる。

問20 次の法規のうち消費者の保護を目的とした法規を選びなさい。

- (1) 商標法
- (2) 意匠法
- (3) 特許法
- (4) 製造物責任法（PL法）

【選択問題】【食品管理分野】 13問

問21 GMP基本法に関する記述で正しいものを選びなさい。

- (1) 1969年に米国で施行された法律である。
- (2) 人の食用に供する食品の製造にのみ関する適正製造規範である。
- (3) 人の食用に供する食品の包装・保管にのみ関する適正製造規範である。
- (4) 我が国では厚生労働省が、これを参考に「適正規範」を作成した。

問22 滅菌，殺菌，消毒の方法について，化学的方法に含まれるものを選びなさい。

- (1) 加熱
- (2) 超音波
- (3) 逆性石鹼
- (4) 放射線

問23 従事者の衛生に関する次の記述で，空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

食品工場の従事者が（ア）であったことに起因する食中毒発生の事例は多い。それゆえ，従事者に対する健康管理や（イ）は非常に重要である。従事者の健康管理は，雇用前の健康診断，雇用後年（ウ）回以上の健康診断，必要時の随時健康診断や年（エ）回以上の検便などを実施する。

- (1) ア．食中毒者 イ．安全教育 ウ．1 エ．1
- (2) ア．食中毒者 イ．衛生教育 ウ．2 エ．2
- (3) ア．保菌者 イ．安全教育 ウ．2 エ．1
- (4) ア．保菌者 イ．衛生教育 ウ．1 エ．2

問24 「水質環境基準」について，直接関連のないものを選びなさい。

- (1) 食品添加物の基準：保存料，酸化防止剤，殺菌料など
- (2) 人の健康の保護に関する環境基準：カドミウム，全シアンなど
- (3) 生活環境項目：河川・湖沼ごとのpH，SS，BODなど
- (4) 富栄養化防止のための環境基準：全窒素，全リン

問25 「水産加工排水の処理」について誤っているものを選びなさい。

- (1) 物理的処理法は，排水中の浮遊物や沈殿物を除去することを目的として行われる。
- (2) 生物的処理法は，排水中の有害微生物を死滅させる方法である。
- (3) 化学的処理法としては，排水中の汚濁原因物質を沈殿・除去しやすくするためのpH調整法，酸化法，凝集法などがある。
- (4) 化学的処理法は，他の方法と組み合わせると排水処理の効果が高くなる。

問26 水産加工業の防臭設備に関する次の記述で、空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

水産加工業の臭気は、周囲の（ア）に悪影響を与えるものとして、問題になっている。臭気の発生をできるだけ抑えるため、新鮮な原料を使用し、外部に臭気を出さないよう設備工場の（イ）を図り、工場内の洗浄を十分に行い、（ウ）を設けるなどの配慮が必要である。（ウ）には、（エ）、吸着法、オゾン酸化法などがある。

- | | | | |
|------------|---------|---------|--------|
| (1) ア. 農作物 | イ. 密閉化 | ウ. 防臭設備 | エ. 拡散法 |
| (2) ア. 環境 | イ. 密閉化 | ウ. 防臭設備 | エ. 燃焼法 |
| (3) ア. 農作物 | イ. 低温管理 | ウ. 防塵設備 | エ. 燃焼法 |
| (4) ア. 環境 | イ. 低温管理 | ウ. 防塵設備 | エ. 拡散法 |

問27 食品衛生法に定める用語の定義について正しいものを選びなさい。

- (1) 営業とは、食品や添加物を採取、製造、輸入、加工、調理、貯蔵、運搬または販売することをいう。ただし農水産業での採取業は含まれない。
- (2) 食品とは、医薬品を含むすべての飲食物のことをいう。
- (3) 食品衛生は、食品のみを対象とする飲食物に関する衛生をいう。
- (4) 天然香料とは、動植物から得られたものに化学反応を起こさせて得られた化合物で、食品の着香の目的で使用される添加物をいう。

問28 食品添加物に関する記述で正しいものを選びなさい。

- (1) 食品添加物の主な使用目的は、商品価格の引き上げである。
- (2) 食品添加物の使用は、必要最大限にするのが原則である。
- (3) 食品添加物の使用目的の一つに、食品の保存性の向上と食中毒の予防がある。
- (4) 食品添加物の使用基準は、排水基準により定められている。

問29 営業許可に関する次の記述で、空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

食品関係の営業の中で飲食店営業など（ア）に与える影響の大きな営業に対しては、（イ）の許可を受けなければならない。なお、（イ）は（ウ）に必要な基準を設けるように規定されている。この基準を満たし、（イ）の（エ）を得たものでなければ営業できない。

- | | | | |
|-------------|-----------|--------|-------|
| (1) ア. 自然環境 | イ. 都道府県知事 | ウ. 地域別 | エ. 許可 |
| (2) ア. 公衆衛生 | イ. 都道府県知事 | ウ. 業種別 | エ. 許可 |
| (3) ア. 公衆衛生 | イ. 厚生労働大臣 | ウ. 業種別 | エ. 臨検 |
| (4) ア. 自然環境 | イ. 厚生労働大臣 | ウ. 地域別 | エ. 臨検 |

問30 生産管理の原則と言われる「4つの手順：PDCAサイクル」のうち、誤っているものを選びなさい。

- (1) Plan（目標・計画を立てる）
- (2) Do（計画に従って実施する）
- (3) Change（結果に改善点を加える）
- (4) Action（結果を反省し、必要があれば計画の修正などの処置をとる）

問31 「実験の心得」として、正しいものはいくつあるか、選びなさい。

ア 実験をはじめる前に、実験の結果をあらかじめ予測しておくことと先入観となるので、あまり予測はしないほうがよい。

イ 手順よく実験を進めるために、実験に必要な試料、試薬、器具などを準備しておくのがよい。

ウ 実験は自分でい、自分で観察し、自分で考えることが基本である。

エ 能率よく安全に実験を行うためにも整理、整頓に心掛ける。

(1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問32 化学分析に関する次の記述について、正しいものを選びなさい。

(1) 定量分析では、揮発法、沈殿法、抽出法、電解重量法の4つの分離法があり、そのうち沈殿法が最も用いられる。

(2) 化学分析は主として物質の成分を検出する定量分析と、その組成を調べる定性分析に分けられる。

(3) 定量分析は、物質の成分が示す炎色反応、呈色反応、沈殿反応などを利用して、物質の成分を検出する方法である。

(4) 定量分析は、取扱う試料の量によって常量分析法、半微量分析法及び微量分析法に分けられる。

問33 水産食品の微生物試験について、誤っているものはいくつあるか、選びなさい。

ア 一般に、食品の細菌を検査する目的は、食品が、ネズミや有害昆虫に汚染されていないことを確認することである。

イ 食品の細菌を検査する目的は、処理過程で衛生的に取り扱われたことを確認することである。

ウ 微生物試験はかなりの時間がかかるので、食品の検査方法としてはあまり用いられない。

エ 汚染指標細菌として、サルモネラや腸炎ビブリオが用いられる。

(1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

【選択問題】【食品流通分野】 13問

問21 次の文中の（ア），（イ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

現在は商品をつくりだす生産者と、その商品を買う消費者との間は分離しており、生産と消費の間の（ア）をする経済活動を（イ）という。

- (1) ア. 消費 イ. 流通 (2) ア. 消費 イ. 生産
(3) ア. 橋渡し イ. 流通 (4) ア. 橋渡し イ. 消費

問22 流通の担い手について誤っているものを選びなさい。

- (1) 生産と消費の時間的隔たりをうめるために、生産された商品を必要な時期まで安全にしまっておく働きを保管という。
(2) 生産と消費の社会的隔たりをうめ、商品の所有権を生産者から消費者まで移転させる働きを売買という。
(3) 生産と消費の相互の意志を疎通する働きのため、情報を流す必要がある。
(4) 生産と消費の場所的隔たりをうめるために、商品を生産地から消費地まで運ぶ働きを保管という。

問23 日本型食生活について誤っているものを選びなさい。

- (1) 総栄養量に占める植物性食品の比率が高い。
(2) 欧米諸国と比較して、動物性食品の中で、水産物の比重が高い。
(3) 欧米諸国と比較すればカロリー量、タンパク質量、脂肪量が多い。
(4) 近年、脂質の比率と総カロリー量が日本人の体格・活動量からすれば過剰気味である。

問24 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

消費者が最寄りの商店で日常ひんぱんに購入する比較的安価な商品を（ア）といい、食品・日用雑貨品などがある。（イ）は、消費者がいくつかの商店を見て回り、品質やデザインなどを比較検討してから購入する商品で、価格が比較的高く、洋服や家具などがある。（ウ）は、特定の生産者または取扱商店の技術や評判を信頼し、特にこれを指定して購入する商品で、自動車や宝石などのような高価の商品が多い。

- (1) ア. 最寄品 イ. 専門品 ウ. 買回品
(2) ア. 買回品 イ. 専門品 ウ. 最寄品
(3) ア. 最寄品 イ. 買回品 ウ. 専門品
(4) ア. 専門品 イ. 最寄品 ウ. 買回品

問25 魚介類の特性について、次のア～エのうち正しいものの組み合わせを選びなさい。

- ア 鮮度低下しやすい。
イ 様々な魚種が混獲されることが多いので、取り扱いや加工処理を画一的にできる。
ウ 漁獲の時期、量、漁場がほとんど一定なので、計画的に処理・加工することができる。
エ 船上での漁獲物の取り扱いが粗雑になりやすく、船積み方法などの影響を受けにくい。

- (1) ア
(2) ア. エ
(3) ア. ウ. エ
(4) ア. イ. ウ. エ

問26 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

商品カタログやテレビ、新聞、雑誌、（ア）などによって商品を紹介し、電話や郵便、（イ）などで注文を受けて商品を販売する方法である（ウ）は、女性の社会進出などにより売り上げが増大している。

- | | | |
|----------------|----------|---------|
| (1) ア. インターネット | イ. 電子メール | ウ. 通信販売 |
| (2) ア. インターネット | イ. 宅配便 | ウ. 訪問販売 |
| (3) ア. 街頭 | イ. 宅配便 | ウ. 通信販売 |
| (4) ア. 街頭 | イ. 電子メール | ウ. 訪問販売 |

問27 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

卸売業者は、流通経路の中間にあつて、商品を（ア）または卸売業者から仕入れ、これを（イ）や大口消費者に販売することを専門の業務とする（ウ）業者である。

- | | | |
|-------------|---------|-------|
| (1) ア. 消費者 | イ. 小売業者 | ウ. 輸送 |
| (2) ア. 生産者 | イ. 商社 | ウ. 情報 |
| (3) ア. 小売業者 | イ. 商社 | ウ. 金融 |
| (4) ア. 生産者 | イ. 小売業者 | ウ. 商 |

問28 次の記述の卸売業者はどれか選びなさい。

一次卸売業者や二次卸売業者のうち、特定の生産者から全国または特定地域内での独占販売権を与えられた卸売業者である。

- (1) 販売会社
- (2) 特約店
- (3) 地方卸売業者
- (4) 商社

問29 消費地卸売市場の取引の担い手で誤っているものを選びなさい。

- (1) 卸売業者 (2) 消費者 (3) 仲卸業者 (4) 買出人

問30 流通情報システムについて誤っているものを選びなさい。

- (1) E O Sは、小売業者と消費者との間での発注システムのことである。
- (2) 流通業にオンラインシステムを導入することにより、顧客サービスの向上をもたらす。
- (3) P O Sシステムは、自動読み取りのバーコードにより収集した単品別の販売情報や関係する情報を、有効に利用できるシステムである。
- (4) 流通業にオンラインシステムを導入することにより、業務の効率化、省力化が図られる。

問31 物流の新しい考え方について誤っているものを選びなさい。

- (1) 共同物流とは、異なる企業が自社の物流機能をそれぞれ単独で用いて、物流の効率化やコスト削減を追求しようとするシステムのことである。
- (2) サードパーティーロジスティクスは、商品の売り手でも、買い手でもない第三者（サードパーティー）が、物流を総合的にサポートすることを意味する。
- (3) ある商品が消費者の手元に届くまでには原材料のメーカーから始まり、製品を生産するメーカーや卸売業者、小売業者に至るまで、多数の企業がかかわっている。こうした、商品の供給にかかわる企業のつながりをサプライチェーン（供給連鎖）という。
- (4) ロジスティクスという言葉は、もともと軍事用語であり、日本では古くから兵站^{へいたん}という言葉が使われてきた。

問32 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

すべての流通活動に関して必要な法規は民法や商法などの基本的な法律のほかに、（ア）が所管する独占禁止法、消費者庁が所管する不当景品類および不当表示防止法（景表法）、（イ）と消費者庁が共管の割賦販売法および特定商取引法などがある。また、（ウ）所管の消費税法があり、2004年には改正されて、総額表示方法が採用された。一定の事業分野での法規には、（エ）所管の薬機法や消費者庁所管の製造物責任法（PL法）、農林水産省所管の卸売市場法などがある。

- (1) ア. 国税庁 イ. 農林水産省 ウ. 公正取引委員会 エ. 国土交通省
- (2) ア. 国税庁 イ. 経済産業省 ウ. 公正取引委員会 エ. 厚生労働省
- (3) ア. 公正取引委員会 イ. 経済産業省 ウ. 国税庁 エ. 厚生労働省
- (4) ア. 公正取引委員会 イ. 農林水産省 ウ. 国税庁 エ. 国土交通省

問33 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

卸売市場法は、生鮮食料品の価格の安定と（ア）の円滑化を図る目的で制定された。卸売市場は（イ）卸売市場、地方卸売市場、その他の市場の三つに大別される。卸売市場には、（ウ）、分荷、取引などの施設が設けられている。

- (1) ア. 流通 イ. 産地 ウ. 集荷
- (2) ア. 流通 イ. 中央 ウ. 集荷
- (3) ア. 生産 イ. 消費地 ウ. 資本
- (4) ア. 生産 イ. 産地 ウ. 資本